

## G7 環境トラックの成果

2026年4月23日から24日にかけて、議長国フランスのもと、パリでG7環境トラック閣僚会合が開催された。本会合にはG7メンバー国及びパートナー国が集結し、環境に関する重要な課題や、この重要な年における共通の優先事項について意見を交換した。その際、参加者は**具体的、協動的で変革的な行動を実行する**ことで、これらの重要な課題に対処し、すべての人にとってより安定的で安全かつ繁栄する未来に貢献するという決意を改めて表明した。

この機会に、G7議長国フランスによる2つのイニシアティブが立ち上げられた。

- **自然と人々のファイナンス・アライアンス (Nature & People Finance Alliance)** : 特に民間セクターやフィランソロピー (慈善) 団体の自発的な関与を拡大させることで、自然の保護、保全及び回復のためのファイナンスの調整及び強化を支援することが期待されている。
- **繁栄のための不動産 (建物資産) レジリエンス・パートナーシップ (RER4P)** : 特に国内のデータアクセシビリティの改善や、自然を活用した解決策を含むベストプラクティスと解決策の共有を通じた、G7内外での技術的シナジーの推進により、自然災害への曝露と脆弱性を防止・軽減することを目指す。

さらに、以下の事項に特に重点を置いた、一連の行動指向の成果が承認された。

- 資金調達、ガバナンス、モニタリング及び監視に関連する共通の課題に対処するため、**海洋保護区 (MPA) 管理アライアンス**の設立を通じ、効果的なMPA管理に関する協力を強化。
- 特に、国際枠組の効果的な実施の推進、透明性の向上、協力の強化、及び特に最も脆弱な地域における能力構築支援を通じ、**違法・無報告・無規制 (IUU) 漁業への対処**における連携をさらに深めるという誓約。
- **砂漠化、土地劣化及び干ばつへの対処における戦略的優先事項として、土地と生態系の保護と回復を進め**、土地の劣化と安全保障のネクサスを十全に認識することの戦略的重要性を強調する決意。その目的は、レジリエンスを強化し、食料と水の安全保障を向上させ、土地所有の安全を確保し、生計を維持することである。

- **特に水質汚染物質の検出と対処**、及び 2026 年のイノベーション・デーの開催等を通じた革新的な解決策の推進により、**水資源を保全、保護、持続可能な形で管理及び回復させる**という共通の決意を再確認し、G7 水コアリションとその作業計画の進展へ関与すること。

また、G7 2030 年自然協約の実施状況や、2026 年の国際環境アジェンダを通じた更なる行動の機会についても議論が行われた。

デジタル製品パスポートに関する技術的議論を認識しつつ、循環経済及び資源効率性トロント行動計画を実施するための資源効率性のための G7 アライアンスによる継続的な取り組みが歓迎された。